

○事業所名	エール			
○保護者評価実施期間	令和8年3月2日		～	令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	令和8年3月16日		～	令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い共通理解がとれている」「事業所の職員から共感的に支援されている」など、保護者の方との連携について評価をいただきました。「温かくサポートしていただき助かっている」、「親身に相談にのってくださり、1人で子育てしている中で辛いことがあっても乗り越えてこれた」とのご意見もいただきました。	保護者との連絡・相談については迅速かつ丁寧に対応することを心がけています。利用者の状況について、必要に応じて学校や医療機関との情報連携を行いながら支援しています。	社会資源や地域の情報等もお伝えできるようにしていきたいと思います。
2	「事業所の支援に満足している」など事業所の満足度について評価をいただきました。「子どもはエールに行くことが大好き」、「安心して任せることができる」とのご意見もいただくことができました。	教材や教具についても子どもの興味や関心を踏まえて選定し、利用者が安心して過ごせる居場所、楽しんで過ごせる場所となるよう努めています。	行事スケジュールを早めにお知らせすることで、保護者が見通しを持ちやすくなるよう改善を進めていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「ホームページやSNS、掲示物等での活動概要や行事予定の発信」「ペアレントトレーニング等の案内」など情報発信に関して改善をしていきたいと思っています。	活動内容の情報発信の手段が事業所内での掲示が中心でした。お仕事等の都合により頻繁に来所する事が難しい保護者の方にもご覧いただけるようにしたいと思っています。	ホームページや公式LINE、公式Instagram等も活用しながら、事業所の様子を知っていただける機会を増やしたいと思っています。
2			

事業所名	エール	公表日	2026/4/30		
		利用者数	39	回収数	32

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	97%	0%	0%	3%
	2	職員の配置体制は不足していないと思いますか。	59%	19%	0%	22%
	3	支援環境は、安全でこどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、こども達の活動や障害特性に応じた配慮がなされていると思いますか。	81%	13%	0%	6%
適切な支援の提供	4	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%
	5	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題、特性等が分析された上で、個別支援計画が作成され、計画に沿った専門性のある支援が行われていると思いますか。	88%	9%	0%	3%
	6	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が設定され、その上で、具体的な支援がされていると思いますか。	94%	6%	0%	0%
	7	事業所の活動内容は、イベントや行事等により固定化されないよう工夫されていると思いますか。	91%	6%	0%	3%
	8	必要に応じて、学校や医療機関、放課後児童クラブ等の関係機関と連携を取り、支援が行われていますか。	94%	0%	0%	6%
保護者への説明等	9	事業所を利用する際に、契約書や重要事項説明書、運営規程等を用いて、利用者負担やサービスの内容等について説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%
	10	個別支援計画を示しながら、支援や活動の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%
	11	事業所では、ペアレント・トレーニングや保護者会等の機会の案内が事業所の掲示やホームページ等で行われていますか。	75%	0%	3%	22%
	12	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	91%	6%	3%	0%
	13	定期的なモニタリングの中で子育て等の助言が行われ、事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	94%	3%	0%	3%
	14	こどもや家族からの相談や申入れについて、意思の疎通や情報伝達のための配慮等の対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	94%	3%	0%	3%
	15	定期的にホームページやSNS、掲示物等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	81%	3%	0%	16%
	16	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	94%	0%	0%	6%
非常時等の対応	17	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	84%	3%	0%	13%
	18	事業所より、こどもの安全を確保するための計画（非常災害時の避難場所や引き取り方法、感染症時の利用等）について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	97%	0%	0%	3%
	19	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	84%	0%	0%	16%
満足度	20	こどもは安心感をもって通所していますか。また、通所を楽しみにしていますか。	88%	13%	0%	0%
	21	事業所の支援に満足し、利用の継続を希望していますか。	94%	6%	0%	0%

＜ご意見・ご意見を踏まえた対応＞

「子どもの良いところ良くないところ共有し理解し支えてくださり親子で助けられている」、「書類やサービスのシステムについて丁寧に説明をしていただいた」、「温かくサポートして下さり助かっている」、「親身に相談にのってくださり、1人で子育てしている中で辛いことがあっても乗り越えてくれた」などのご意見をいただきました。ありがとうございます。

事業所名	エール				公表日	令和8年4月30日
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制	1	館内の衛生管理に注意を向けている。ドアノブの消毒や室内の換気など利用者や職員の感染症への対策を心がけている。	60%	40%	0%	・定期的な換気、手洗いうがいの声掛けを行っている。
	2	危険な箇所がないか、破損している教具や遊具がないかなど気を配っている。また、清掃などを常に心がけ利用者にとって衛生的な環境を心がけている。	80%	20%	0%	・危険な箇所には緩衝材等をあてるようにしている。 ・トイレや手洗い場、キッチン清掃を毎日行っている。
	3	部外者の侵入や通所時の事故や危険から利用者を守る取り組みをチームで話し合っている。	60%	40%	0%	・事業所会議で話し合っている。
業務遂行	4	所長、管理者、児童発達支援管理責任者を中心とした個別のケースについて、事業所内で話し合う機会に参加したり、支援の注意点について聞いたりしている。	100%	0%	0%	同上
	5	個々の支援の役割が明確になっており、その職務を遂行するために支援方法を学んだりチームで検討したりする機会を持っている。	80%	0%	20%	・研修に参加をしている。 ・事業所会議で情報共有を行い、検討している。
	6	アセスメントやモニタリングなど自分の関わっている利用者の面接の時は同席したり事前に活動内容や利用者の状態について報告したりしている。	60%	20%	20%	
利用者支援	7	利用者のニーズや目標、支援方法について個別支援計画に目を通し、疑問があれば担当者に質問したり話し合いを望んだりしている。	80%	20%	0%	
	8	個々の利用者の強みや興味・関心を生かした教具や教材を提供できるよう努めている。	60%	40%	0%	・教材教具は今あるものの他にどういったものがある といいか検討している。
	9	問題を発覚した時に自分だけで抱えず、チームで相談・検討できるよう話し合いの場を設けるよう要請することができる。	100%	0%	0%	
保護者対応	10	保護者からの不安や相談を受けた場合には自分で解決しようとせず速やかに事業所の上長に相談することができている。	100%	0%	0%	
	11	保護者に対して丁寧な言葉使いができ、保護者の悩みに寄り添う姿勢を常に心がけている。	80%	20%	0%	
	12	保護者や来談者に対して適切な対応や挨拶ができている。また子どもの良い現れなどの報告をすることも心がけている。	100%	0%	0%	・子どもの良い点を共有している。
安全管理	13	南海トラフ巨大地震に対応できる知識を持ち、常に情報の変化には敏感に受け止める努力をしている。	80%	20%	0%	・防災訓練を行っている。 ・必要な知識を伝達する場を職員間でも設けている。
	14	事業所で行う防災、避難訓練にできる限り参加をし、非常時に備える心構えを持つよう務めている。	80%	20%	0%	
	15	送迎時の安全には常に注意をもち、他者にも声掛けをして互いに事故を防止する取り組みに心がけている。	100%	0%	0%	

公表管理者・児童発達支援管理責任者自己評価結果						
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	64%	36%	0%	・他児との交流が難しい利用者は時間をずらす等で対応している。 ・クールダウン用のスペースを確保したい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置体制は不足していないか。	36%	64%	0%	・1対1のニーズが多いと足りないと感じることがある。 ・利用者が集中する時間帯に感じる時間が時々ある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害特性やこども達の活動に応じ、環境上の配慮が適切になされているか。	64%	18%	9%	・雨天時や気温が高い時、室内で運動できる環境があるとよい。
	4	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	0%	・必要に応じてパーティションで部屋を区切るようにしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、 広く職員が参画して意見等を把握する機会を設けているか。	73%	27%	0%	・事業所会議の時間を確保するよう努めている。
	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	64%	27%	0%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9%	55%	27%	・現在は行っていないが、法人として検討している。
	8	職員の資質の向上を図るために、外部研修や法人内での研修に参加する機会が確保されているか。	100%	0%	0%	・法人内研修でのケース検討は資質向上に向けた良い研修だと思う。
適切な支援の提供	9	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	0%	
	10	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	100%	0%	0%	・定期的に保護者と面談をして、その内容を個別支援計画に反映するようにしている。
	11	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	82%	9%	0%	
	12	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	91%	9%	0%	
	13	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	45%	45%	9%	
	14	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	0%	
	15	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた活動プログラムの立案や検討をチームで行い、固定化しないよう工夫しているか。	82%	18%	0%	・より良い支援の方法や活動の教材教具の情報交換をより行っていきたい。
	16	支援開始前、終了後には職員間で必ず打合せや情報共有を行い、その日行われる支援の内容や役割分担の確認、支援の振り返りを行い、チームで連携して支援を行っているか。	55%	45%	0%	・情報共有や共通理解に努めているが、そのための時間確保に苦慮することがある。 ・ミーティング以外でもその都度情報共有をするようにしている。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	91%	9%	0%	
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	0%	
	19	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」（自立支援と日常生活の充実のための活動、多様な遊びや体験活動、地域交流の活動、こどもが主体的に参画できる活動）を複数組み合わせて支援を行っているか。	64%	36%	0%	
	20	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	91%	0%	0%	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	0%	

関係機関や保護者との連携	22	医療機関や障害福祉サービス、市の関係機関、児童相談所等と連携して支援を行う体制を整えているか。	91%	9%	0%	・必要に応じて連携を取ることができている。
	23	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	0%	・学校のマチコミの情報も活用しながら把握するようにしている。
	24	就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等との間での情報共有や相互理解、また、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合の支援内容等の情報提供等をしているか。	82%	18%	0%	・児から者のサービスに移行する際に情報提供を行った。
	25	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	18%	82%	0%	
	26	事業所または法人として、自立支援協議会等へ積極的に参加しているか。	82%	18%	0%	・法人として参加をしている。
	27	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	0%	・日頃から保護者と連絡を取り合い、気づいたことを共有している。
	28	家族の対応力の向上を図る観点から、ペアレント・トレーニング等や家族の参加できる研修の情報提供等や、保護者会等を開催し保護者同士で交流する機会を設ける等、利用者家族への援助を行っているか。	64%	18%	18%	
保護者への説明等	29	契約書や重要事項説明書、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	0%	
	30	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	0%	
	31	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	0%	
	32	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	0%	・事業所での面談やTEL対応で早期に相談に応じている。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	91%	9%	0%	
	34	定期的な通信等の発行や、HPやSNS、事業所の掲示等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	91%	9%	0%	・公式LINE等の登録をお願いしている。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	0%	
	36	障害や外国にルーツのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	0%	・学校と保護者との意思疎通が難しい場合に、放デイが間に入って手助けをすることもあった。
非常時等の対応	37	地域の行事への参加や施設見学、事業所の行事で保護者や地域住民と交流する、児童クラブとの交流や連携等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	36%	64%	0%	・保護者が参加できる行事を計画して声掛けをしている。
	38	業務継続計画（BCP）、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した必要な訓練や研修等を実施しているか。	100%	0%	0%	
	39	事前に、服薬や食物アレルギー、予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を保護者から確認し、必要に応じて医師の指示や意見を仰ぎながら対応しているか。	100%	0%	0%	
	40	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、家族等への周知、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	0%	
	41	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	91%	9%	0%	・事業所会議で話題を出し、防止策の検討や共有を行っている。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	0%	
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、身体拘束行う場合にはこどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	64%	9%	27%	・身体拘束が必要な利用者がいない。